

【論文試験対策 刑法】(前期・木曜日 6 時限)

藍澤 幸弘

講義のねらい

論述式問題（論述式問題集、または法科大学院の過去問）を素材に答案構成例を検討し、法科大学院入試、司法試験の論述式試験に向けた刑法の答案における形式や書き方のポイントを習得する。

講義の内容・スケジュール

本講義では、論述式試験の問題を題材として、刑法の体系に即した事案分析の方法、及び論文の書き方を学習します。

司法試験や法科大学院入試では、長文の事例を題材として、比較的基本的な論点を刑法総論の体系に従って論述することが求められます。これらの試験答案を書く際は、法律上の争点についての解釈の前提として、そもそもなぜ議論が生じるのかという問題の所在を明示したうえで、刑法であれば構成要件、違法性、有責性の各要素について、その順にしたがって検討していく、という一定の形式に則って答案を構成することが求められます。

このような構成に従った答案作成は、基本書・テキストを読み込むだけで習得できるわけではなく、日常の学習の際に答案構成を意識して基本書の内容を読み込むとともに、論述式試験の問題集の参考答案例を検討したり、実際に自身で答案構成を書いてみて、参考答案例等との違い（自身が書き落とした論点や、書き方の違い）をなるべく多くチェックする、という学習が有効です。

本講座では、論述式問題集や、受講生の希望に応じて各法科大学院の入学試験で使用された過去問を用いて、①刑法総論は体系を理解したうえで設問における問題点を抽出し、どのような順番でどの程度の内容を記載していくか、要点を学習する、②刑法各論は、各構成要件要素の抽出、指摘し、その解釈を通じて答案を構成する、という、論文式答案の作成のポイントを学習し、刑法の基本的な答案構成のポイントを理解することを目的として講義を進めます。

テキストは、各人の基本書、論述式問題集のほか、受講生の希望があれば主要な法科大学院が公開している入試問題を使用することも想定しています。

教科書等

『司法試験・予備試験論文合格答案集 スタンダード100』（早稲田経営出版）

『えんしゅう本』（辰巳法律研究所）

主要法科大学院入試試験 刑法過去問（ホームページ等で公開しているもの）